



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458

議会事務局 TEL0470-55-4804

第119号



中道台のひょっとこ踊り（保田地区連合祭にて）

< 9月定例議会 >

は
や
わ
か
り

議案・補正予算	2ページ
旧佐久間小体育館耐震診断予算を計上	
一般質問	3～5ページ
緒方・青木・三国・小藤田の4議員	
決算審査特別委員会	6・7ページ
平成27年度一般会計決算歳出総額44億8,580万円	
議会活動トピックス	8ページ
県町村議会議員研修会に参加	

旧佐久間小体育館

耐震診断予算を計上

9月定例議会は、会期を9月6日から14日の9日間として開催した。町長提出議案は幼稚園保育料に関する条例の一部改正など4件、平成28年度補正予算3件、平成27年度決算認定2件、財政健全化法に基づく報告3件の合計12件、全ての議案を可決・認定した。平成27年度決算については、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月9日に審査を行った。また一般質問には、緒方・青木・三国・小藤田の4議員が質問席に立った。

幼稚園保育料

軽減措置の拡大へ

議案の主な内容

幼稚園保育料に関する条例の一部を改正する議案では、月額4,000円とされていた幼稚園保育料を、世帯の所得割額に応じて規則で定めることとなった。その後、教育委員会規則が改正され、幼稚園保育料の軽減措置が拡大された。

補正予算の主な質疑

質問 今後の旧佐久間小の活用について。

総務企画課長 佐久間地区の拠点として旧佐久間小体育館については、今回耐震診

断を行って、避難所等として使って行きたいと考えております。管理校舎棟については、雨漏りの修繕を行い、引き続き自衛隊に使っていただきたいと考えております。

質問 橋梁補修工事について原因者負担という形で寄付金をいただいた経緯があるが町の考えは。

建設水道課長 過去にはそのような経緯がございますが、今は原因者負担という形で寄付はいただいております。今後いただく予定は考えておりません。

質問 ふるさと納税収納等

システム利用料の内容は。

総務企画課長 インターネット最大手である「ふるさとチョイス」から直接寄付を納める事が可能となるための経費です。

質問 返礼品の充実について町としてのどの位の品数を考えているのか。

総務企画課長 返礼品の拡充にあたり、町内事業者29カ所を訪問し、新規9業者を加え、22業者31品目の返礼品を予定しております。また、11月に新しいパンフレットを出す予定です。

同意

鋸南町監査委員の選任
柴本 健二氏（竜島）
任期は4年間

討論

平成27年度企業会計決算認定について

監査委員の意見書を尊重し、水道・病院の耐震化について早急に検討する事を求め、賛成する。笹生正己議員

一般会計補正予算の概要

補正額 (補正後総額)	主な内容
1億4,881万9千円 (41億394万9千円)	<ul style="list-style-type: none"> 旧佐久間小特別教室棟解体工事設計委託 旧佐久間小屋内運動場耐震診断業務委託 佐久間ダム景観整備事業委託 橋梁補修工事（天寧寺大橋）

ここが聞きたい

いっぱん質問



みかえいちゃん

あなたの声を町政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や考え方を町長・教育長に方針を問うものです。



よじもくん



緒方 猛 議員

一般行政職来年度

採用人数は妥当か

質問 町の来年度一般行政職採用数は5名、定年者も5名。人口減少や近隣3市と比較して多さを感じる。採用数は仕事の量と質を数値的に各々クリアにし、最小限にすべきと思うが。

町長 平成25年7月に定員管理計画を策定し、地方分権に伴う権限委譲等による事務事業の増加、多様な住民ニーズに対する対応等を考慮し105名という計画目標を立てました。また人口千人あたりの一般職員数（二部職種を除く）は県内類似団体平均の12・02人に対し、鋸南町は9・69人と県内では最も少ない状況となっています。

質問 行財政改革では職員の意識改革を進め、民間企業では早くから行っている業務仕分け等、あらゆる方法で事務効率の向上を行うべきだと思いが。

総務企画課長 業務仕分けのなことは行っておりませんが、予算編成作業を行う中で、各事業について財政部局と担当課で詳細な部分まで協議を行っております。

質問 仕事の省力化や町民サービス等

では、業務の改善提案は重要です。「町報きよなん」の提案的記事は生かせずなくし、また「町政に望むこと」の投書も軽視化が感じられる。ならば提案する気も無くなります。提案とはそんなものです。トヨタは「提案と改善」で世界一の企業になりました。鴨川市では住民の転入が転出を上回る「人口の社会増」を目指す提案を、人口減少に強い危機感を持つ市長の指示で全職員が実施していますが、鋸南こそ行うべきでは。

町長 提案制度がなくても、提案は常に私自身や管理職員も聞いており、管理職員と一般職員の垣根はそうないと感じております。町民の皆さんからも常に色々な話が来ています。決して提案が無いという事ではないとご理解いただきたい。

来年度一般行政職 採用予定者数	
鋸南	5 (5)
館山	7
鴨川	4
南房総	3

※()内は退職予定者数



青木 悦子議員

地方創生をふまえた 鋸南教育の推進について

質問 地方創生の柱は教育と考えるが鋸南町の未来を託す子どもたちの意識調査や今後の具体策は。

町長 将来の鋸南町を担う子どもたちがどのようなことを考えているのか、大変興味深いところです。現在、子どもたちの意識調査を、社会教育委員さんが主体となって実施中で、目的は「町民のみなさんが住みやすく、住み続けたい町にするためにどうしたらよいのか」を考えていく上で、「子どもたちの意見を反映するため」とのことです。結果がまとまりましたら、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

質問 「鋸南に住んで、子育てがしたい」という魅力ある教育施策について。

町長 子どもの減少傾向は、町の存亡にもつながる大きな問題であります。町内のみならず町外の方にも定住していただけるよう、教育・保育施策を充実させ、併せて情報発信に努めていきたいと考えております。わが町の子どもたちも、グローバル社会に適応した

人材を育成するため、継続した英語教育に一層取り組んで参ります。

質問 町民が一体となって、地方創生に向かう環境を醸成する取り組みは。

教育課長 鋸南版の世代間交流を積極的に推進することによって、地域の創生が一步でも押し進めていけるようになっております。今年には新たな形でのスポーツ祭を実施します。年齢を超えて多くの町民の方々に参加できるように、総力を挙げて情報を発信して、参加を呼びかけて参ります。



クジラの都まつりで演奏する鋸南中吹奏楽部



三国 幸次議員

火災警報器の設置状況は 知恵を出して設置支援の検討を

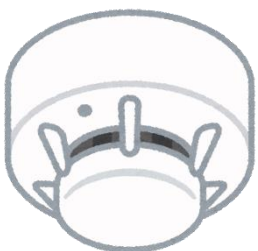
質問 火災警報器の設置が義務付けられて10年になります。全国的に住宅火災による死者が急増してきたこと、特に犠牲者の方の大半が65歳をこえる高齢者となっていること、そして、就寝中に火災に遭遇することで発見が遅れ、逃げ遅れることが原因で犠牲者が発生するケースが増加の一途をたどっていたため、就寝に使用する部屋に、火災警報器の設置を義務付けることにより、住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることが目的です。住宅火災から身を守るためにも、正しい場所、正しい方法で火災警報器を設置しましょう、と呼びかけています。

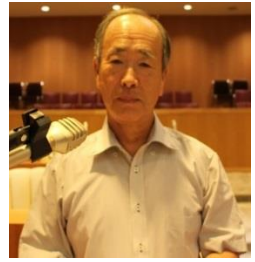
町長 平成27年6月時点となりますが、設置率の全国平均は81・0%、千葉県平均は74・2%となっています。これに対し、安房郡市全体では55・0%、鋸南町は24・6%で、全国平均、県平均をかなり下回った状況となっています。

質問 設置を推進するための対策についての考えはどうか。

町長 住宅火災による死傷者の約6割が65歳以上の高齢者であるというデータもございまして、今後は、高齢者世帯への取り組みも検討していかなければならぬと考えております。消防機関と連携し、日頃の維持管理も含め、十分に理解していただくよう、さらに啓発活動を積極的に行い、住宅用火災警報器の普及促進に取り組んでまいりたいと思っております。

要望 働きかける方法ですが、消防団の力、それから地域自治組織の力、そして、鋸南町には色んな団体もあります。知恵を出して支援を検討してもらいたい。





小藤田 一幸議員

道の駅「保田小」の運営と 新規就農者の支援について

質問 「利用客の目は肥えており、今後は道の駅の淘汰は避けられない。」と町長は答弁した。現在安房で成功している道の駅は、地元の人々の利用と新鮮な野菜と花の安定供給に勝因がある。保田小を利用してはいる地元の人はお客の何割ぐらいか。また目標は。

地域振興課長 カウントは行っておりません。半数以上の町民の方々に利用していただければと考えています。

質問 新規開店の直売所は、珍しさから3年は客が来る。保田小もあと2年で、9〜11月の野菜の少なくなる対策や、野菜の出荷を増やし、土産品が多く目につく今のレイアウトを変えて行かなければならない。その対策は。

地域振興課長 指定管理者の共立メンテナンスや生産者と今後、検討していきます。

質問 後継者不足や高齢化が進む保田小の164名の出荷者に対し、隣の直売所では300人を超え、年間1千万円を売り上げる専業農家も何人もいる。保田小の将来のために、若い新規就農者の活

躍はどうしても必要である。町として支援策を考えているのか。

地域振興課長 新規就農者に対し、今年度中に支援策を作り、新年度から行えるよう作業を進めています。

要望 3人の新規就農者のうち一人は、他で畑作の研修を受け鋸南町に来たが、借りた一町三反の農地の多くが重粘土で畑作に適さず、トラクターなどの農機具もないため、農地が有効利用されていない。保田小の10年、20年後のために、今後の新規就農者への温かい地域・行政の支援を望みたい。



きよなん楽市

関東町村議会議長会

「道の駅 保田小学校」を視察

関東7都県に山梨県を加えた各町村議会議長会の会長8名で構成する関東町村議会議長会の会長会議が、9月27日富浦ロイヤルホテルを会場に開催されました。翌28日の研修では鋸南町議会の伊藤茂明議長が千葉県会長の務めることから鋸南町が研修の会場となり、鋸山・日本寺と「道の駅 保田小学校」の2か所で視察が行われました。

道の駅保田小学校を視察した方々からは「廃校の利活用として大変参考となった」「宮金次郎像や小さな机、黒板など学校らしさが素晴らしい」といった声がありました。



まちの縁側を見学



2階音楽室にて白石町長の挨拶

年度決算を認定

審査特別委員会の概要

平成27年度の各会計決算の審査を行うため、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（小藤田一幸委員長）を開催した。一般会計については、歳入総額は47億8,984万6千円で前年度比1・7%の減。歳出総額は、44億8,580万8千円で前年度比0・6%の減となった。町税収納率は93・11%となり、前年度より0・7%の増となった。審査の後、採決を行った結果、平成27年度決算については全員賛成で原案のとおり認定すべきものと決定した。

主な事業としては、都市交流施設整備事業費7億5,959万6千円、プレミアム商品券発行事業補助金2,398万1千円、地方創生先行型事業費3,400万5千円、地域防災計画策定業務委託449万4千円など。

女性から注目を浴びる

狩猟エコツアー

繕補助金について、修繕の対象を拡大してはどうか。

企画財政室長 平成28年度では、区の要望を受けて、エアコンや外構修繕など対象を広げています。

一般会計決算の

主な質疑

総務企画課関係

質問 公有財産として購入した土地の活用状況は。

企画財政室長 公有財産として購入した竜島と保田の公有財産は駐車場として活用しており、大六の公園についてもそれぞれ目的に沿

った活用をしています。

質問 行財政改革の成果はどうか。

企画財政室長 歳入面では施設の貸付51万円や町報有料広告料として168万円。歳出面では人件費の削減や、繰り上げ償還等で1,207万円となり、歳入歳出合計では1,426万円の効果がありました。

質問 コミュニティ施設修



人気の狩猟エコツアー

質問 循環バスの小型化の検討はどうか。

企画財政室長 今後車両の更新の際は小型化も含めた検討をしていきます。

保健福祉課関係

質問 老人福祉センターの利用者数増加の要因は。

保健福祉課長 収入額では前年度比で158万円の増、利用者数では4,178人の増となりました。その要因は温泉水によるものですが、自衛隊員の利用も大きく影響しています。

地域振興課関係

質問 都市交流施設PR委託費400万円の内容は。

まちづくり推進室長 保田小学校新聞の2回発行や、各マスコミや企業に対する情報発信などにより、PRを図りました。

質問 空き家バンクの契約成立件数はどうか。

まちづくり推進室長 本年6月に1件の契約が成立しました。現在は1件登録中ですが、今後登録件数を増やしていきたいと考えてい

平成 27

決算



ます。

質問 佐久間ダムキャンプ場の開設期間は5月から9月と規定されているが、キャンプブームでもあり期間延長が出来ないか。

農林水産振興室長 花観光との重複を避けて期間を設定していますが、期間延長に向け、今後検討をしていきます。

質問 狩猟エコツアー参加者の男女比はどうか。

地域振興課長 エコツアー参加者の内訳は男性143名、女性94名ですが、解体ワークショップに関しては、男性15名に対し女性22名の参加という女性の方が多い結果となりました。

要望 解体ワークショップは若い女性に人気があるとのこと。ゆくゆくは解体所の設置や鋸南のブランド作りに発展してほしい。

教育課

質問 鋸南中学校のグラウンド整備状況はどうか。

教育総務室長 今回整備する前は、平成21年度にグラ

ンド、平成23年度に野球場の整備を行いました。

国民健康保険特別会計

質問 財政調整基金は5千万円を下回ってしまったがこの状況はどうか。

税務住民課長 これまで保険料率の引き上げを抑制するため、基金を取り崩してきた経緯があります。平成30年度には財政運営が県に移行することもあり、保険料の伸びを抑えつつ、現在の状況を維持できればと考えています。

水道事業会計

質問 滞納額が増加しているが、徴収対策はどうか。

建設水道課長 税務収納室との連携を図り、滞納者との分納誓約を交わして対応しています。しかし、滞納額が増えてしまうこともあり給水停止を含めて厳しい対応を検討しています。

要望 公平感を欠くことのないよう滞納解消に向けて努力してほしい。

一般会計決算状況

項目	平成27年度	平成26年度
歳入総額	47億8,984万6,682円	48億7,439万8,136円
歳出総額	44億8,580万8,028円	45億1,155万4,104円
差引	3億403万8,654円	3億6,284万4,032円

特別会計及び企業会計決算状況

会計名	収入	支出
国民健康保険特別会計	15億4,542万471円	14億7,230万5,795円
後期高齢者医療特別会計	1億1,043万253円	1億635万8,187円
介護保険特別会計	12億8,753万276円	12億4,332万3,032円
病院事業会計（収益的収支）	2,344万2,938円	5,707万2,490円
水道事業会計（収益的収支）	4億9,180万7,695円	4億6,996万1,207円

議会活動トピックス

鋸南小5年生議場を見学



7月12日、鋸南小5年生が職場見学の中で鋸南町の議場を見学し、熱心に議会についての説明を聞いていました。

県町村議会議員研修会に参加



8月2日、地域ブランド化等をテーマに千葉市内で開催された千葉県町村議会議員研修会へ参加。

鋸南町総合防災訓練



9月25日、鋸南町総合防災訓練が行われ、議長と消防委員会長が災害対策本部として訓練に参加した。

西伊豆町議会、鋸南町を視察



10月5日、静岡県西伊豆町議会議員11名が、道の駅「保田小学校」を視察に訪れ、研修の後2階旧教室棟に宿泊されました。

議会の日誌

8月2日 町村議会議員研修会

8月23日 議員全員協議会

8月29日 議会運営委員会

9月6日～14日

平成28年第4回議会定例会

9月9日 決算審査特別委員会

10月6日 広報特別委員会

10月12日 議会運営委員会

10月17日 平成28年第5回議会臨時会

編集後記

9月議会は、会期中に決算審査特別委員会を設置し、審査が行われ、14日に閉会しました。

ちょうどその頃、富山市議で、相次ぐ政務活動費の不正問題が話題に上がりました。20年前にもあった白紙の領収書を偽造したり、別の買い物と合わせて領収書に数字を書き加えたりと、手法は様々です。一連の不正で辞職した議員は11人です。補欠選挙は11月6日に投票が行われるとのこと。そもそも政務活動費は必要なのでしょうか。事前に交付され、使い切らなければ、返還するそうですが、貰ったら使わなければ損という気持ちで働いてしまうのでしょうか？

さて、鋸南町の議員はどうでしょう。胸を張って大丈夫と言えますか。言えませぬ。なぜなら、政務活動費はもとからないのですから

田久保